

技術資料 #60

トラブルシューティング

煙突からの煙の量が多い

煙は不完全燃焼の結果です。

現在のハースストーンストーブはすべて非触媒方式で EPA Phase II をパスしています。

これらの高性能により、着火を開始してしばらくすると、煙突からほとんど煙を出すことはありません。もしあれば、原因を追究する必要があります。

燃焼サイクルを通して、煙が煙突から流出し続ける場合は、次のリストをチェックしてください。

原因	解決方法
空気コントロールを閉じるタイミングが早い	着火する時や薪を追加する時は空気コントロールを全開にしてください。そして二次燃焼が働くまで約 30 分間開いた状態に保ってください。
二次燃焼用空気取入口が塞がっている	ボトムキャスティングの後部にある、二次燃焼用空気取入口をチェックします。ほこり等の異物を取り除いてください。
灰の量が多い 注1	ドックハウスからの一次空気を妨害しないように、灰を取り除いてください。
薪が乾いていない	乾燥した薪の使用で煙濃度は縮小します。
不適當な煙突	煙突サイズや高さの必要条件をクリアしているか確認します。 煙突の接続が完全であるか、漏洩がないかチェックしてください。

備考:

二次燃焼システムが早く確立すれば、煙の量は少なくなります。

そのプロセスはスムーズな着火や薪の補充から始まります。

焚きつけは 1/2 インチ程の直径で、よく乾いたものを使用してください。薪も、細く、よく乾いたものを加え、開始してください。

冷えたストーブに着火する場合は、熾きの層が出来るまで時間を要します。

熱い熾きの層の上に薪を補充することは、くん煙時間の短縮になります。

注 1: 技術資料 #12 を合わせてお読みください。